

恵庭市農福連携成功事例集 (作業工程マニュアル)

令和5年度追加版



令和6年3月

恵庭市農福連携による障がい者等就労促進ネットワーク
(恵庭市農福連携ネットワーク)

恵 庭 市

令和5年度追加版の発行にあたって

恵庭市では、この「恵庭市農福連携成功事例集」（以下、事例集）を平成30年度に初版を発行しています。この初版で掲載した事例は、ピーマンの定植や小松菜の収穫など13事例でした。それが、令和元年度版では22事例、令和2年度版では29事例と徐々に掲載事例が増えてきました。また、令和3年度からは、追加版として新たな事例を追加して、合計37事例を掲載するまでに至りました。

これはひとえに、農業関係者、福祉関係者がそれぞれの取組みを継続してきたことによって、恵庭市での農福連携が推進されてきたものと考えられます。

この度の令和5年度追加版では、新たに確認できた2事例を掲載しています。

これまでの事例集と合わせてご覧いただき、地域における農福連携の取組みの際にご活用くだされば幸いです。

目次

農福連携型（通い型）

馬房の掃除	3
木酢液の散布	5

馬房の掃除

パターン1【通い型】 ロチェスファーム×NOVAS（B型）

馬房の掃除は通年を通し毎日行われる。取材の日は恵庭市内の就労継続支援B型事業所が牧場にて作業を行っていた。

作業は、汚れた敷き藁をたい肥場に運ぶ作業、マットをはがしもみ殻と石灰をまく作業、マットを戻して新しい敷き藁を引き直す作業、飼料と水を馬房にセットする作業、最後に通路の掃き掃除となる。細かい判断などは必要としないが一輪車で運ぶ作業も多く、足腰などの身体機能や体力が求められる。また、冬期間も含めて通年で行うことができる作業となっている。

利用者同士声を掛け合いながら、協力して作業を実施していた。



↑こちらから
動画がみられます





作業工程



1

汚れた敷き藁を馬房から片づける



2

マットをはがしもみ殻と石灰をまく



3

マットを戻して新しい敷き藁を引き直す



4

飼い葉と水を馬房にセットする



5

通路の掃き掃除を行う

作業分析

■区分 時給

■工賃 300円

■作業時期 通年

■難易度 ふつう（体力必要）

■障がい種別 身障・知的・精神



作業時期



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

※作業分析は令和5年度時点の参考情報であり類似作業の基準となるものではありません。

木酢液の散布

パターン1【通い型】 北海道文教大学×やまびこ（B型）

木酢液の散布は、北海道文教大学の作業療法学科の農作業として育てている枝豆やカボチャに行われている。取材の日は恵庭市内の就労継続支援B型事業所が作業を行っていた。

作業は、指導員が手押し噴霧器に水道水と木酢液を入れる。手押し噴霧器を肩に担ぎ、枝豆やカボチャにまんべんなく葉面散布を行う作業となっている。細かい判断などは必要としないが手押し噴霧器を肩に担ぎ作物に散布するため体力が求められる。



↑こちらから
動画がみられます





指導員が手押し噴霧器に水道水と木酢液を入れる



手押し噴霧器を肩に担ぐ



手押し噴霧器のレバーを押す



枝豆の葉に満遍なく木酢液を散布する



カボチャの葉に満遍なく木酢液を散布する

作業分析

■区分 時給

■工賃 300円

■作業時期 6月～9月頃

■難易度 ふつう (体力必要)

■障がい種別 身障・知的・精神



作業時期



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

※作業分析は令和5年度時点の参考情報であり類似作業の基準となるものではありません。



平成31年3月 初版発行
令和2年3月 改訂版発行
令和3年3月 改訂版発行
令和4年3月 追加版発行
令和5年3月 追加版発行
令和6年3月 追加版発行

恵庭市農福連携成功事例集
令和5年度追加版

発行 恵庭市農福連携による障がい者等就労促進ネットワーク
(恵庭市農福連携ネットワーク)
編集 恵庭農福連携ネットワーク事務局
恵庭市 保健福祉部 障がい福祉課
〒061-1498 北海道恵庭市京町1番地
TEL : 0123-33-3131 (内線1215)
FAX : 0123-33-3137